

親鸞の教え 今こそ



東本願寺 大谷暢裕門首

80年ぶり対談

1951年、京都市生まれ。父は光眞
・前門主。法政大卒、龍谷大学文学
研究科博士課程単位取得。龍谷非常勤
講師、中央仏教学院講師、
日本仏教学会長などを歴任。ボイス力
とおもに日本最大級の規模を誇る伝統仏教団、浄
土真宗本願寺派（本山・西本願寺、京都市）の大谷
暢裕門首が対談した。両派などによると、宗
祖親鸞の血脉を継ぐ、宗派の象徴的存在である門主
と門首が対談するのは80年ぶり。親鸞の教えを今日
にいかす意義をはじめ、世界平和やコロナ禍など国
内外の問題に対する宗教の役割について語り合つ
た。両寺で親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800
年慶法要が今月始まるの前に読売新聞が呼び
掛け、両寺を互いに訪問する形で実現した。
(進行役はフリーアナウンサーの中井美穂さん)

ちようゆつ



対談する西本願寺の大谷光淳門主（右）
と東本願寺の大谷暢裕門首（京都市下
京区の東本願寺・黒書院の庭園で）

①凡夫=愚かな者。煩悩に迷わされて
いる者。
②煩悩=心身を悩ませる精神作用。「三
毒」と呼ばれる限りない欲や
むさぼり、怒りや妬み、無自
覚や無知などがある。
③同朋=念仏の教えによって開かれる
人と人とのつながり。仲間。

ともに日本最大級の規模を誇る伝統仏教団、浄
土真宗本願寺派（本山・西本願寺、京都市）の大谷
暢裕門首と真宗大谷派（本山・東本願寺、同）の
大谷暢裕門首が対談した。両派などによると、宗
祖親鸞の血脉を継ぐ、宗派の象徴的存在である門主
と門首が対談するのは80年ぶり。親鸞の教えを今日
にいかす意義をはじめ、世界平和やコロナ禍など国
内外の問題に対する宗教の役割について語り合つ
た。両寺で親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800
年慶法要が今月始まるの前に読売新聞が呼び
掛け、両寺を互いに訪問する形で実現した。
(進行役はフリーアナウンサーの中井美穂さん)

1951年、京都市生まれ。暢顕（ち
ょうけん）・前門主のいとこ。1歳で南
米開拓開教使の父とブラジルに渡る。
サンパウロ大卒。物理学者。ブラジルの航
空技術研究所に勤務した。健役門首の隣
佐役や開教司教を経て2014年に門
首後継者となり20年に門首に就任。舍日
本仏教会会長などを務める法名は修如。

中井さん
80年ぶりの歴史的な
対談に立ち会えて光榮です。今年
は親鸞聖人の御誕生から850年
の節目。その教えを現代にどう生
かせばよいですか。

暢裕門首
親鸞聖人の最も大事
な教えは、ご自身の在り方を徹底
的に見つめ、その本質を「凡夫」（注
①）と明らかにされたことです。
凡夫の自覚に立つ時、本当の平等
差別のない関係性が築かれ、初め
て他者との共生の道が開かれるの
でしょう。

中井さん
80年ぶりの歴史的な
対談に立ち会えて光榮です。今年
は親鸞聖人の御誕生から850年
の節目。その教えを現代にどう生
かせばよいですか。

暢裕門首
親鸞聖人は「いい、
かはら、つぶしてござるわ
ら」という言葉を残されました。
今日、私たちが同朋（注③）教団
を標榜するのも、当時、社会の
底辺で差別されていた方々の立場

に立っておられた親鸞聖人のみ教
えに基づくものです。
そこから、人々の苦しみや悲し
みに共感し、積極的に社会と関わ
っていく態度も形成されていくと
思います。仏教や浄土真宗が持つ
多様性と共感の視座を現代社会へ
伝えていきたいです。

「生老病死」の苦しみ
超えさせる役割

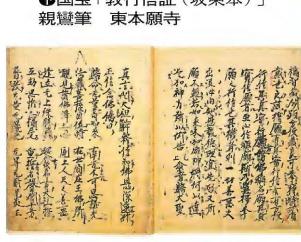
進行役 中井美穂さん



東京都出身。日本大卒。
1987年、フジテレビに入社
し、「プロ野球ニュース」
などに出演。退社後も「世界陸上」（TBS）のメイ
ンキャスターなどを務めた。
NPO法人「キャンサ
ーネットジャパン」理事と
してがん啓発大賞選考委員。
読売演劇大賞受賞。



①国宝「親鸞聖人影像（安城
御影副本）（部分）」西本願寺



②国宝「教行信証（坂東本）」
親鸞 東本願寺

親鸞は京都・日野（伏見区）
で生まれたとき、9歳で得
度。20年間比叡山で悟りの道
を追究した後、京都・六角堂
に移る。そこで夢に現れた

聖徳太子に進むべき道を告げ
られ、浄土宗の開祖・法然の
元に通い、弟子となつた。
法然は、公にしていかつ
た自著『選択本願念仏集』の書

写を親鸞に許すなど、師弟は
固い絆で結ばれた。だが、阿
弥陀如来の名号・念佛ととな
えるのみで救われるとする法
の「專修念佛」は、修行の末

に悟りを開くことを理想とす
る既存の仏教界から批判され
た。専修念佛弾圧で法然は四
国、親鸞は越後（新潟県）に
流れ、2人は一度と云うこ
とがなかつた。

赦免された親鸞は関東で布
教し、主著『教行信証』を執
筆。草稿が完成したと伝わる
1224年が明治時代に「立
教開宗」の年と定められた。
万人を救う阿弥陀仏のはた
らきである「他力」を強調し、

「悪人正機」が不される。
全ての人は阿弥陀仏の前で
は平等だとして「弟子一人も
もだす」と言い、終生、「非
僧非俗」の立場で民衆に寄り
添つた。庶民のように妻帯も
し、晩年は京都に戻つて90年
の生涯を終えた。

その慈悲に身を委ねるよう説
いた「言行錄・歎異抄」には、

阿弥陀仏の願い（本願）を疑う
自力の善人よりも、他力の信
心を得た悪人こそが救われる

「悪人正機」が不される。

全ての人は阿弥陀仏の前で

は平等だとして「弟子一人も
もだす」と言い、終生、「非
僧非俗」の立場で民衆に寄り
添つた。庶民のように妻帯も
し、晩年は京都に戻つて90年
の生涯を終えた。

その慈悲に身を委ねるよう説

いた「言行錄・歎異抄」には、

阿弥陀仏の願い（本願）を疑う
自力の善人よりも、他力の信
心を得た悪人こそが救われる

「悪人正機」が不される。

全ての人は阿弥陀仏の前で

は平等だとして「弟子一人も
もだす」と言い、終生、「非
僧非俗」の立場で民衆に寄り
添つた。庶民のように妻帯も
し、晩年は京都に戻つて90年
の生涯を終えた。

その慈悲に身を委ねるよう説

いた「言行錄・歎異抄」には、

阿弥陀仏の願い（本願）を疑う
自力の善人よりも、他力の信
心を得た悪人こそが救われる

「悪人正機」が不される。

全ての人は阿弥陀仏の前で

は平等だとして「弟子一人も
もだす」と言い、終生、「非
僧非俗」の立場で民衆に寄り
添つた。庶民のように妻帯も
し、晩年は京都に戻つて90年
の生涯を終えた。

その慈悲に身を委ねるよう説

いた「言行錄・歎異抄」には、

阿弥陀仏の願い（本願）を疑う
自力の善人よりも、他力の信
心を得た悪人こそが救われる

「悪人正機」が不される。

全ての人は阿弥陀仏の前で

は平等だとして「弟子一人も
もだす」と言い、終生、「非
僧非俗」の立場で民衆に寄り
添つた。庶民のように妻帯も
し、晩年は京都に戻つて90年
の生涯を終えた。

その慈悲に身を委ねるよう説

いた「言行錄・歎異抄」には、

阿弥陀仏の願い（本願）を疑う
自力の善人よりも、他力の信
心を得た悪人こそが救われる

「悪人正機」が不される。

全ての人は阿弥陀仏の前で

は平等だとして「弟子一人も
もだす」と言い、終生、「非
僧非俗」の立場で民衆に寄り
添つた。庶民のように妻帯も
し、晩年は京都に戻つて90年
の生涯を終えた。

その慈悲に身を委ねるよう説

いた「言行錄・歎異抄」には、

阿弥陀仏の願い（本願）を疑う
自力の善人よりも、他力の信
心を得た悪人こそが救われる

「悪人正機」が不される。

全ての人は阿弥陀仏の前で

は平等だとして「弟子一人も
もだす」と言い、終生、「非
僧非俗」の立場で民衆に寄り
添つた。庶民のように妻帯も
し、晩年は京都に戻つて90年
の生涯を終えた。

その慈悲に身を委ねるよう説

いた「言行錄・歎異抄」には、

阿弥陀仏の願い（本願）を疑う
自力の善人よりも、他力の信
心を得た悪人こそが救われる

「悪人正機」が不される。

全ての人は阿弥陀仏の前で

は平等だとして「弟子一人も
もだす」と言い、終生、「非
僧非俗」の立場で民衆に寄り
添つた。庶民のように妻帯も
し、晩年は京都に戻つて90年
の生涯を終えた。

その慈悲に身を委ねるよう説

いた「言行錄・歎異抄」には、

阿弥陀仏の願い（本願）を疑う
自力の善人よりも、他力の信
心を得た悪人こそが救われる

「悪人正機」が不される。

全ての人は阿弥陀仏の前で

は平等だとして「弟子一人も
もだす」と言い、終生、「非
僧非俗」の立場で民衆に寄り
添つた。庶民のように妻帯も
し、晩年は京都に戻つて90年
の生涯を終えた。

その慈悲に身を委ねるよう説

いた「言行錄・歎異抄」には、

阿弥陀仏の願い（本願）を疑う
自力の善人よりも、他力の信
心を得た悪人こそが救われる

「悪人正機」が不される。

全ての人は阿弥陀仏の前で

は平等だとして「弟子一人も
もだす」と言い、終生、「非
僧非俗」の立場で民衆に寄り
添つた。庶民のように妻帯も
し、晩年は京都に戻つて90年
の生涯を終えた。

その慈悲に身を委ねるよう説

いた「言行錄・歎異抄」には、

阿弥陀仏の願い（本願）を疑う
自力の善人よりも、他力の信
心を得た悪人こそが救われる

「悪人正機」が不される。

全ての人は阿弥陀仏の前で

は平等だとして「弟子一人も
もだす」と言い、終生、「非
僧非俗」の立場で民衆に寄り
添つた。庶民のように妻帯も
し、晩年は京都に戻つて90年
の生涯を終えた。

その慈悲に身を委ねるよう説

いた「言行錄・歎異抄」には、

阿弥陀仏の願い（本願）を疑う
自力の善人よりも、他力の信
心を得た悪人こそが救われる

「悪人正機」が不される。

全ての人は阿弥陀仏の前で

は平等だとして「弟子一人も
もだす」と言い、終生、「非
僧非俗」の立場で民衆に寄り
添つた。庶民のように妻帯も
し、晩年は京都に戻つて90年
の生涯を終えた。

その慈悲に身を委ねるよう説

いた「言行錄・歎異抄」には、

阿弥陀仏の願い（本願）を疑う
自力の善人よりも、他力の信
心を得た悪人こそが救われる

「悪人正機」が不される。

全ての人は阿弥陀仏の前で

は平等だとして「弟子一人も
もだす」と言い、終生、「非
僧非俗」の立場で民衆に寄り
添つた。庶民のように妻帯も
し、晩年は京都に戻つて90年
の生涯を終えた。

その慈悲に身を委ねるよう説

いた「言行錄・歎異抄」には、

阿弥陀仏の願い（本願）を疑う
自力の善人よりも、他力の信
心を得た悪人こそ